

平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社 セレスポ
 コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部経理部長 (氏名) 久保田 裕

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 9,545 | 7.5 | 612 | 31.1 | 621 | 31.0 | 405 | 32.4 |
| 30年3月期第3四半期 | 10,316 | 1.1 | 888 | 16.5 | 900 | 16.4 | 599 | 17.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 147.52 | |
| 30年3月期第3四半期 | 218.79 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 8,465 | 5,195 | 61.4 | 1,889.21 |
| 30年3月期 | 7,758 | 4,900 | 63.2 | 1,788.37 |

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 5,195百万円 30年3月期 4,900百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 0.00 | | 41.00 | 41.00 |
| 31年3月期 | | 0.00 | | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 42.00 | 42.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,000 | 4.8 | 410 | 31.0 | 420 | 30.9 | 270 | 28.8 | 98.31 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期3Q | 2,851,750 株 | 30年3月期 | 2,851,750 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 101,445 株 | 30年3月期 | 111,502 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期3Q | 2,746,282 株 | 30年3月期3Q | 2,740,268 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 財政状態及び経営成績に関する説明..... | 2 |
| (2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明..... | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記..... | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表..... | 4 |
| (2) 四半期損益計算書（第3四半期累計期間）..... | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項..... | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記）..... | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）..... | 6 |
| (追加情報）..... | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 財政状態及び経営成績に関する説明

①経営成績

平成30年11月30日付け「業績予想の修正及び中期経営計画Ⅳの修正並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にてご報告しました通り、売上高につきましては、主としてセレモニー部門における第3四半期を中心とする大型入札案件の受注が前期に比べ不調となりました。

スポーツ部門及びフェスティバル部門において、新規案件の受注増、並びに案件単価の上昇等により増収となりましたが、この減収分をカバーするには至らず、771百万円の減収となりました。

費用につきましては、資材費・労務費を中心とした外注費の高騰により売上原価率が0.4ポイント上昇する一方、前期に計上したシステム導入関連費用が減少すると共に、「働き方改革」推進に伴う社員残業費の減少等により、販売費及び一般管理費が12百万円減少しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は下記の通りとなりました。

| | |
|--------|----------------------|
| 売上高 | 9,545百万円（前年同期比7.5%減） |
| 営業利益 | 612百万円（前年同期比31.1%減） |
| 経常利益 | 621百万円（前年同期比31.0%減） |
| 四半期純利益 | 405百万円（前年同期比32.4%減） |

来期以降に向けた国際的スポーツ大会の準備が既に本格化しており、人員配置を含む社内の体制整備を迅速に進めるとともに、労務費・資材費等の高騰などの外部環境要因に適切に対応することで、中期経営計画Ⅳに掲げた「最大収益の追求」の実現を図って参ります。

②財政状態

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べて707百万円増加し、8,465百万円となりました。これは主に現金及び預金が277百万円、受取手形及び売掛金が260百万円、未成請負契約支出金が202百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて411百万円増加し、3,269百万円となりました。これは主に買掛金が595百万円、賞与引当金が101百万円、流動負債その他に含まれる未払金が175百万円減少したものの、短期借入金が1,200百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて295百万円増加し、5,195百万円となりました。これは主に利益剰余金が292百万円増加したことによるものであります。

各部門別の状況は次のとおりであります。

[スポーツ部門]

国体に関する大型案件の受注数が減少しましたが、陸上競技とトライアスロンの大型案件の受注数が増加したことにより、売上高は2,711百万円と前年同期比1.8%の増収となりました。

[セレモニー部門]

行幸啓行事に関する大型案件と建設式典に関する案件の受注数が減少したことにより、売上高は2,138百万円と前年同期比25.0%の減収となりました。

[フェスティバル部門]

全体の受注数は減少しましたが、地域振興イベントと文化イベント等の大型案件の受注数の増加により、売上高は2,129百万円と前年同期比15.0%の増収となりました。

[プロモーション部門]

広告宣伝・販売促進イベント等の案件受注数と大型案件の受注数が減少したことにより、売上高は1,583百万円と前年同期比9.4%の減収となりました。

[コンベンション部門]

展示会・見本市に関する大型案件の受注数が増加しましたが、会議・学会・集会イベントの大型案件と全体の受注数が減少したことにより、売上高は639百万円と前年同期比14.7%の減収となりました。

[その他事業部門]

防災訓練の大型案件の受注で金額が増加しましたが、選挙に関する案件受注数の減少と日光における指定管理事業の契約終了により、売上高は342百万円と前年同期比24.4%の減収となりました。

部門別の売上高の明細は次表のとおりであります。

(単位：百万円)

| 部門 | 売上高 | 構成比 | 前期比増減 | 主要商品 |
|---------|-------|--------|--------|--------------|
| スポーツ | 2,711 | 28.4% | 1.8% | 陸上競技、運動会 |
| セレモニー | 2,138 | 22.4% | △25.0% | 建設式典、記念式典 |
| フェスティバル | 2,129 | 22.3% | 15.0% | 市民祭、商工祭、学園祭 |
| プロモーション | 1,583 | 16.6% | △9.4% | 展示会、見本市、発表会 |
| コンベンション | 639 | 6.7% | △14.7% | 会議、集会、シンポジウム |
| その他事業 | 342 | 3.6% | △24.4% | 防災訓練、選挙 |
| 合計 | 9,545 | 100.0% | △7.5% | |

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績が計画通りに進捗しており、平成30年11月30日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,370,181 | 1,647,746 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,667,785 | 1,928,417 |
| 原材料及び貯蔵品 | 34,124 | 46,407 |
| 未成請負契約支出金 | 50,512 | 252,738 |
| その他 | 57,512 | 87,419 |
| 貸倒引当金 | △2,732 | △2,995 |
| 流動資産合計 | 3,177,383 | 3,959,733 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 334,379 | 319,699 |
| 土地 | 3,310,250 | 3,310,250 |
| その他(純額) | 61,347 | 60,207 |
| 有形固定資産合計 | 3,705,976 | 3,690,157 |
| 無形固定資産 | 277,368 | 264,255 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 654,567 | 607,395 |
| 貸倒引当金 | △57,176 | △56,166 |
| 投資その他の資産合計 | 597,391 | 551,228 |
| 固定資産合計 | 4,580,736 | 4,505,641 |
| 資産合計 | 7,758,119 | 8,465,375 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 988,143 | 392,424 |
| 短期借入金 | 800,000 | 2,000,000 |
| 未払法人税等 | 73,018 | 101,301 |
| 賞与引当金 | 159,423 | 57,546 |
| その他 | 597,933 | 480,681 |
| 流動負債合計 | 2,618,519 | 3,031,953 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 84,045 | 84,318 |
| 役員退職慰労引当金 | 106,787 | — |
| 資産除去債務 | 37,564 | 37,650 |
| その他 | 10,623 | 115,542 |
| 固定負債合計 | 239,020 | 237,511 |
| 負債合計 | 2,857,540 | 3,269,464 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,370,675 | 1,370,675 |
| 資本剰余金 | 2,155,397 | 2,166,532 |
| 利益剰余金 | 1,427,899 | 1,720,681 |
| 自己株式 | △63,665 | △57,935 |
| 株主資本合計 | 4,890,306 | 5,199,953 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,272 | △4,043 |
| 評価・換算差額等合計 | 10,272 | △4,043 |
| 純資産合計 | 4,900,579 | 5,195,910 |
| 負債純資産合計 | 7,758,119 | 8,465,375 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 10,316,699 | 9,545,023 |
| 売上原価 | 7,019,729 | 6,537,162 |
| 売上総利益 | 3,296,970 | 3,007,861 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,407,973 | 2,395,713 |
| 営業利益 | 888,996 | 612,147 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 8,977 | 6,268 |
| その他 | 5,430 | 7,090 |
| 営業外収益合計 | 14,408 | 13,359 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,592 | 2,661 |
| 保険解約損 | — | 1,667 |
| 貸倒引当金繰入額 | 200 | — |
| 営業外費用合計 | 2,792 | 4,328 |
| 経常利益 | 900,612 | 621,177 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 85 | — |
| 特別利益合計 | 85 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 262 | — |
| 特別損失合計 | 262 | — |
| 税引前四半期純利益 | 900,435 | 621,177 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 251,192 | 170,485 |
| 法人税等調整額 | 49,712 | 45,560 |
| 法人税等合計 | 300,905 | 216,045 |
| 四半期純利益 | 599,530 | 405,132 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産を投資その他の資産の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成30年6月21日開催の第41回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、当社の本制度廃止までの在任期間に対する「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給に伴う未払額110,350千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。